



一般社団法人
久喜市学童保育運営協議会

理事長 橋本 久雄

こどもの日を考える

大型連休(ゴールデンウィークとも呼んでいます)の真ん中にこどもの日がありますね。1948年(昭和23年)にこどもの日が法律で制定されました。「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに母に感謝する」ことが法律に謳われています。ですから子どもだけの日ではなく、子どもたちを生んでくれたお母さんに感謝する日でもあるのです。

母親に感謝する日として祝日ではありませんが、母の日があります。法律に定められてはいませんが、アメリカから入って来たこの日は、今ではすっかり定着しています。

さて、学童保育で支援を受けている子ども達は現在、新型コロナウイルス感染症の影響で日々の生活で様々な制約を受けています。一年中マスクをする。手洗いを今まで以上にきちんとやらなければならない。お友達と接近して遊ぶことができない等です。しかしながら、感染症を気にするあまり学童保育での生活が充実しないものになっては意味がありません。各クラブの支援員もどうすれば子ども達がよりよい生活(支援が受けられるか)が送れるか、支援員同士の情報交換、専門家の研修を受けるなどして本来の務めを果たしてまいります。子ども達がより良い生活をするためには、子ども達一人一人が健康に過ごすことが第一です。

- 1 食事をきちんと摂っていますか
- 2 よく遊んでいますか
- 3 よく学んでいますか

これらのことは、お子さんにとっての大原則です。何か思い当たる節がありましたら、担任の先生や支援員に声を掛けてください。小さな気付きが大事に至らずに済むことが多々あります。支援員との面談の中で、「よく遊べない子ども達も結構いますね」の言葉を聞くことがあります。是非子どもの動きや言葉を感じ取ってください。

新年度がスタートして、早1ヶ月が過ぎました。子ども達は、新しい学年や環境等に少しずつ慣れると同時に、ほっと一息つける心のゆとりも感じられるようになってきたのではないのでしょうか。日々、学校や学童クラブでたくさん頑張っている子ども達。支援員は、そんな子ども達の些細な身体や心の変化に気を配り、寄り添いながら保育をしております。ご家庭においても、お子さんのことで気になることや心配なこと等ありましたらお気軽に各クラブ支援員にご相談ください。

今年度も子ども達や保護者の皆様にとって、安心、安全な居場所となるよう努めてまいりますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

さて、以下各クラブ支援員のご挨拶と写真、クラブのキャッチフレーズを掲載いたします。昨年同様、コロナ禍ということでマスクを着用しての写真となりました。このコロナ禍でも子ども達が安心して楽しめる充実した保育が行えるよう、日頃から感染対策を徹底し、予防に努めてまいります。

※ 都合により、写真には写っていない職員もいます。



つばめクラブ
第1・第2 (太田小学校)

笑顔いっぱい大空に羽ばたけ！つばめっ子！

笑顔あふれるつばめクラブを目指し、子ども達が一人ひとり成長し、渡り鳥のようにお互いを思いやり、強く大空に羽ばたいて欲しいと願いを込めてつけました。

つばめクラブの子どもたちは元気いっぱいです。一人ひとり個性があり、お互いに思いやりを持ってのびのび過ごしています。校庭は緑あふれる環境にあり、子どもたちはドッジボールやサッカー・野球・鬼ごっこ・縄跳び等で思い切り遊んでいます。特にドッジボールは、大勢で異学年同士仲良く楽しんでいます。また、女の子たちは一輪車遊びが大好きで上手に乗っています。1年生もジャングルジムの周りで上級生から教わりながら遊んでいます。

室内遊びでは、昨年購入したボードゲームが人気です。1年生はぬり絵やプラ板に絵を描きキーホルダーにして嬉しそうに持ち帰っています。

早くマスク不要への遊びとなる事を願い感染対策を守りながら安心安全の保育を目指し、楽しく子どもたちと過ごしていきたいです。



第1 佐藤 ふじ子 中山 麻里
北山 裕美 荒川 貴子



第2 古関 薫 橋谷 かおり
下谷 京子 伊熊 真佐子



さくらっこクラブ 第1・第2 (久喜東小学校)



第1 根岸 美幸 寒川 祥望
村田 久恵 山田 貴子
大友 とも子 佐藤 貴久



第2 蜂屋 まゆみ 牧野 啓太
薄井 佐知子 鈴木 紀子
大城 ヒロミ 三浦 直子

元気いっぱい 優しさいっぱい さくらっこ

一人ひとりの個性を大切にしながら、良いところを伸ばせるようにと考えています。

42名の女の子の多い第1クラブと33名の元気・パワー全開の第2クラブです。まだ新しい環境に慣れず不安もあると思いますが色々なことに興味があり、目を輝かせています。

それぞれの個性をいかし、困ったことは一緒に考え、うれしいことは一緒に喜び合える、そんな温かいクラブを目指しています。

自分を上手く表現できない子もいますが、それぞれの個性を受けとめ、自信が持てるように導き、支援員が子ども達一人ひとりと丁寧に関わり支援していきたいと思っています。



たんぽぽクラブ (本町小学校)

ただいま～ぽかぽかたんぽぽクラブ～

帰ってきた子ども達が笑顔で「ただいま!」と言える様な、ぽかぽかとした優しく明るい学童を目指す気持ちを込めました。

自然豊かで、とても穏やかな環境にあるたんぽぽクラブでは、毎日子どもたちの元気いっぱいの笑顔があふれています。上級生が下級生に優しく接することで、学年の枠を超えてみんな仲良く遊んでいます。

外遊びでは、4年生を中心にケイドロや鬼ごっこ、室内ではオセロやカードゲーム、将棋などで遊んでいます。

行事などは、子ども達が積極的に企画に加わり役割分担をしながら進行しています。また、今後は全学年で協力して出来ることを増やしていきたいと思っています。



佐藤 賀子 桐ヶ谷 加容子
酒井 恵美子 蓬田 京子
岡野 義子 佐藤 佳苗

あおばっこクラブ (青葉小学校)

助け合い、ゆずい合う、 心豊かなあおばっこ

思いやりの心を持って、みんなで仲良くしよう。



小森谷 理恵 新村 茉奈
小杉 ミエ子 渡辺 洋子 三浦 直子

あおばっこクラブは、14名の新生を迎え、37名になりました。元気で活発な1年生が入りとても賑やかです。

1年生は、友達作りが上手で「入れてー」と声をかけ、異学年とも仲良く遊んでいます。

積極的な行動に戸惑う上級生もいますが、やさしくルールや遊び方を教えたり、我慢して譲る場面もあって、感心しています。

下校後、開口一番「外遊び行きますか？」と質問してくる程、外遊びが大好きな子ども達。気持ち良い青空の下、ドッジボールやサッカーで遊んだり、一輪車の練習を汗だくで頑張っている姿も見られます。子ども達と1年間楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

あおげわくわくクラブ 第1・第2 (青毛小学校)

笑顔で元気に わくわく楽しく

元気で笑顔が溢れ、わくわくするような楽しい毎日を過ごしてほしいという気持ちからこのキャッチフレーズにしました。

保育室が2部屋ありますが、学年問わずみんなで一緒に遊ぶので、面倒見の良い高学年や甘え上手な低学年、とても仲が良く微笑ましい姿が多く見られます。

外遊びや行事はみんなで一緒に参加ができるよう合同保育を増やし、日々の保育時間の中でも交流を持ちながら、あおげわくわくクラブをみんなで盛り上げていきたいと思っています。



第1 中島 藍 小澤 実環
大出 芳子 佐々木 春美

第2 倉嘉 美穂 隅田 由貴
関根 佐知子

ほくと

北斗キッズクラブ (久喜北小学校)

みんな 仲よく たすけあう北斗っ子

みんなで仲よく遊び、助け合いながら心身共に成長して
いってほしいと願っています。



萩原 久美子 伊藤 才容
内藤 ちづ子 藤田 智子
納谷 保美

今年度、1年生5名を迎え、33名の
元気な子ども達と毎日過ごしています。
大好きな外遊びでは、ドッジボール、
サッカー、鬼ごっこなど汗をかきながら
仲よく遊んでいます。室内では、レゴブ
ロックやドラホッケー、折り紙で恐竜や
虫、季節の花などを折ることや、箱を使
って色々想像力を膨らませ、自由に工作
を楽しんでいます。
季節の行事や誕生会などみんなで協力
し合い、子ども達一人ひとりが楽しく笑
顔で過ごせるように、これからも支援し
ていきたいと思います。

くきじどう

久喜児童クラブ ゆめ・はな (久喜小学校)

育てよう 心と身体 明るい笑顔

学童生活を通して、子ども達の心と身体の成長を願い、
みんなが笑顔でいられるようにと考えました。

今年度は35名の1年生を迎え、
はな・ゆめ合わせて在籍138名と
なりました。子ども達の元気な声が
響き、みんなパワー全開です。体力
や疲れも出る頃かという心配をよそ
に、部屋ではおもちゃ・カード遊び、
外では鬼ごっこ・一輪車・鉄棒など
友達を誘って仲良く元気に遊んでい
ます。4月初旬は、待つことが多く、
不満を漏らしていた先輩たちも、1
カ月が過ぎ、学童のルールを1年生
に伝え、一緒に遊ぶことを通して受
け入れてくれたようです。
色々な行事や経験をし、楽しい学
童にしていきたいと思います。



ゆめ 坂村 洋子 吉永 瑠花
服部 幸子 大山 雪子
福島 美智子



はな 池戸 清美 松本 亜美
和賀 寿美子 小林 文枝
島村 治美 大井 峰子

江面児童クラブ（江面小学校）

笑顔と優しい気持ちを忘れずに！

毎日の笑顔と、その笑顔をうむ優しい気持ちを持って生活してもらいたいです。



吉田 あや 大久保 敏江
梅村 亜矢子 野口 陽子

低学年の女の子が増え、言葉遣いを少しずつ気にするようになってきた上級生男子達。上級生同士でも、相手の言葉遣いを注意する時の言い方が少し優しくなって、微笑ましくあります。

昨年から大人気のドッジボールでは低学年を狙う時、痛くない様に足元を狙ったり、外から遊びに来た子達とも一緒になって盛り上がっています。

室内遊びではレゴのコマ作りが大ブーム！こうしよう、こうした方がよく回るよ、とアドバイスし合っってかっこいいコマを作っています。

今年度は、様々な行事に子ども達の意見も取り入れて各学年で協力しあい、楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。

清久もみじクラブ（清久小学校）

笑顔いっぱい 楽しさいっぱい 優しさいっぱい 清久っ子

緑豊かな環境の中で、元気いっぱいの29名の子ども達が和やかな雰囲気の中で過ごしています。

異年齢の交流も盛んで、学年関係なくドッジボールやサッカーなどでパワフルに遊んでいます。

季節のイベントや行事などでは、上級生が中心となり、アイデアを出しながら皆で楽しめるようなものを企画して行なっています。

毎日、笑顔で楽しく、優しい気持ちを持って協力して過ごして欲しいという思いから、このキャッチフレーズにしました。



矢澤 千恵子 新田 美穂子
中嶋 光子 樋渡 由起子 多田 悠一

菖蒲東学童クラブ（菖蒲東小学校）

遊んで！笑って！楽しさ無限大！

元気に遊び、笑顔いっぱい、楽しい事であふれる菖蒲東学童の日々の様子と希望も込めて表現しました。



岡田 直美 藤村 君代
齋藤 通代 荻野 裕子
島田 知明 竹内 瑠那

菖蒲東学童クラブの子ども達は、パワー全開。とにかく元気！とにかく賑やか！そして心優しく仲良しです。

4月当初は、1年生が他学年に圧倒され泣いてしまった子もいましたが、今では自ら活発に仲間に入っています。

また6年生は支援員の手伝いを「さり気なく」してくれます。とても微笑ましいです。

行事や遊びなどを通して、みんな考え、協力し合い、より交流を深め、楽しい時間が過ごせるように支援して行きます。

小林・栢間学童クラブ (小林小学校・栢間小学校)

仲良しの輪を広げよう

2つの学校の子供たちが利用しているため合同保育になるので、お互いに交流を深め、元気に楽しく過ごして欲しいという思いを込めて決定しました。

小林・栢間学童クラブの子ども達は、2つの小学校の垣根を感じさせず、元気一杯、仲良く遊んでいます。男子は、サッカーや野球、低学年は鬼ごっこが大好きです。

今年度は、1年生から6年生が利用しているので「集団で楽しく遊ぼう！」を目標にいろいろな集団遊びを取り入れていきたいと思ひます。

高学年のリードのもと、さらに異学年同士の交流をより一層深めていきたいと思ひます。



田中 千春 福井 眞理子
高澤 文江 柳葉 明美 浅野 佳代子

菖蒲学童クラブ (菖蒲小学校)

たのしいまいにちをすごそうね!

毎日笑顔で楽しく、心も体も健康に学童で過ごせるようにと思ひつけました。

今年、1年生の女子が多く入所し、男女比が半々になりました。高学年男子に対しても物おじしない1年生に、文句を言いつつも遊んであげて、「1年生っておもしろいな。」とすぐに学年を超えて仲良くなりました。

支援員が、「当番やってくれる人。」と声をかけると「やりたい!」と積極的に言ってくれる子が沢山います。

子どもの人数が少ない分、みんな仲良しで気心が知れているからこそ、思いやりのある言葉で友だちと話せるよう、些細な事でも「ありがとう」と言えることの大切さを伝えていきたいです。

安心・安全を第一に考え、楽しい毎日を過ごせるように支援していきたいと思ひています。



栗原 久仁子 山内 佳子
中 智子



さんが

三箇学童クラブ (三箇小学校)

三箇学童クラブは、在籍児童の半数が兄弟姉妹です。その為、とてもアットホームで自由な雰囲気の中で日々過ごしています。

遊びも行事も心から楽しもう！を合言葉に自分たちのことは自分たちで考える力、言葉で発信していく力、言葉を形や行動に実行に移す力、必要且つ正しいことを選択する力を、友達と過ごす中で学んでいます。

人数は多くありませんが、だからこそいつも身近に友達がいる安心感があります。学年関係なく遊び、笑いの絶えないクラブです。

もっと上へ！もっと前へ！ みんなの笑顔が主人公

心も体も立ち止まることなく成長している子ども達。無限の可能性と前進する力を表現しました。また、クラブでの日々の様々な場面では子ども達の笑顔が最高の物語です。



村井 香絵 川田 恵美子
奥村 文子 吉田 洋子

わしのみや

鷺宮学童クラブ 第1・第2 (鷺宮小学校)

天高く羽ばたけ！わしのみや！

それぞれの良さを最大限に発揮できるクラブにしようという気持ちを込めました。



第1

安藤 春美 野村 沙姫
野原 敦子 中澤 良枝
塩野 美奈子



今年度から、第1と第2の2つに分かれました。第1は2年生21名、4年生7名、5年生9名、6年生5名の42名。第2は1年生14名、3年生21名の35名でのスタートとなりました。1年生は学校が始まり、学童の生活にも慣れてきました。

室内では、アイロンビーズや塗り絵などの制作に加えて、レゴブロックやワミーなど子どもならではの発想で楽しく遊んでいます。また、外遊びではクラブや学年、男女関係なくドッジボールや鬼ごっこをし、元気に校庭を走り回っています。

クラブは2つに分かれましたが、行事等を通して、第1と第2の交流がたくさんできるよう、保育していきます。よろしくお願ひします。



第2

関根 舞 松田 浩子
新沼 光司 古屋 恭子

東鷲宮学童クラブ (東鷲宮小学校)
さくら・こすもす・すみれ

みんなで遊ぼう！みんなで学ぼう！
みんなで笑おう！

子どもも職員もみんなが毎日楽しく過ごせるようにという思いからこのキャッチフレーズにしました。



さくら
松本 恵 恒松 真紀子 齋藤 知美 伊藤 初姫
齋藤 寛子 野田 由美 茂利 由美子 遊馬 優子
鳥塚 かおる



こすもす



すみれ
古川 由佳
水澤 雅美
真田 みな子
清川 宏子

今年度から在籍人数が増え、3か所での保育が始まりました。環境は変わっても、子どもたちは今までどおり元気いっぱい楽しく過ごしています。行事や外遊びなどはみんなで一緒に行い、異学年での交流を深めています。一つのクラブとして一体感を持ち、みんながのびのびと安心して過ごせるクラブであるよう努めながら、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

鷲宮中央学童クラブ
第1 (ひまわり)
(鷲宮子育て支援センター隣)
第2 (あさがお)
(砂原小学校敷地内)

みんなで咲かせよう！思いやりの花

友だちを大切に、相手のことを考えられる思いやりの気持ちを持って、クラブ名のあさがお、ひまわりのように大きく花開くようにと思いを込めました。

男女、学年問わず仲良く過ごしています。子ども達中心の児童クラブ作りを心がけており、おやつ時間は子ども達が当番制で前に立ち進めています。行事等では、高学年がリーダーとなり低学年をまとめて引っ張ってくれています。天気の良い日は、バスケットボールやドッジボール・サッカー・鬼ごっこを楽しみ、室内ではバインブレードやけん玉・トランプ、ポケモン人形などを使って基地作りなどをして楽しんでいます。

あさがおは校内、ひまわりは鷲宮地域子育て支援センター隣と少し離れています。季節のイベントなど交流する時間も作っています。



ひまわり
児矢野 圭子
熊谷 菜奈
齊田 保彦
熊坂 智恵子
見留 美智子

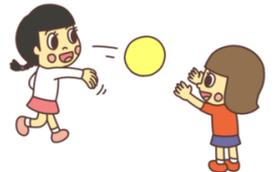


あさがお
吉井 一未
加藤 光男
竹本 充留
倉石 恭子
砂賀 敏子

桜田小学校学童クラブ
にじ・えがお・ほし・げんき
(桜田小学校)

ONE TEAM
みんな仲良くPOWER全開

元気いっぱい桜田小学校学童クラブの子供たち！
仲良く、楽しく、学童生活を送れるよう、願いを込めました。



にじ

青木 利幸 福岡 紀子
佐藤 延枝 円田 直美 塚越 恵美

えがお

酒井 有加子 大関 香織
小川 由紀子 草野 真由美 土田 瑞江



ほし

松谷 万樹子 高松 幸江
田沼 志乃 岩口 隼人

げんき

佐々木 恵美子 吉田 倫大 橋本 光代
水野 律子 須藤 丹奈

桜田小学校学童クラブには4つの支援単位があり、にじ60名、えがお57名、ほし62名、げんき57名の計236名の児童が在籍しています。毎日2クラスや4クラスによる合同保育を行い、気の合った友達と好きな遊びをゆったり楽しむことが、クラブの大きな特徴となっています。外遊びが大好きで、校庭を広く使用し、サッカーやドッジボールを楽しんでいます。また室内では、ドラえものころがスイッチ、レゴブロック、ラQなどが人気です。

人を思いやる気持ちを育み、異学年の関わりを深めることを目標に、1年間子供たちと共に歩んでいきたいと思っています。

子どもにとって居心地のよい場所を。

自分を出せる場所に！(*´`*)



エリアマネジャー

齋藤 晴美 (写真 右)

担当地区

たんぼぼ、あおばっこ、北斗キッズ、鷺宮、東鷺宮、鷺宮中央、桜田

谷口 信子 (写真 左)

担当地区

つばめ、さくらっこ、あおげわくわく、久喜、江面、清久もみじ、菖蒲東、小林・栢間、菖蒲、三箇



○ 学童クラブへの「苦情受付」について

当協議会及び各クラブでは、苦情処理責任者（事務局長）・苦情受付担当者（各クラブ）を置いて、利用者の皆様からのご意見、ご要望、ご不満等（以下「苦情等」）について随時受け付けております。

また、「学童に行きたがらない」「いじめを受けているようだ」等のご相談にも対応しています。

＜対応の流れ＞

- 1 利用者様からの苦情等について、電話・面談等で随時受付しています。
- 2 報告書を作成し、協議会事務局・当該学童クラブで情報を共有します。
- 3 苦情処理責任者は、苦情の内容を確認し、原因の調査・分析を行い、解決策を検討し、当該クラブの苦情受付担当者に指導を行います。
- 4 継続して対応する必要がある場合は、学校や市役所、関係機関等と連携して苦情解決のための適切な対応を行います。
- 5 苦情処理責任者は、解決した苦情等について、必要に応じて職員会議等で情報を共有し、職員の対応能力の向上に努めます。
- 6 対応した苦情及びその内容について、必要に応じて協議会のホームページへの掲載を行うなど、利用者への苦情対応の公表に努めます。

以上が、基本的な流れとなりますが、何かございましたらお気軽にご相談ください。
（協議会事務局 ☎24-3922 または各クラブまで）

○ 児童虐待への対応について

各放課後児童クラブでは、協議会独自の「児童虐待発見時等行動マニュアル」に基づき「児童虐待」の早期発見に努めています。

虐待が疑わしい子どものサインとしては、

- ・身体に不自然な外傷がある 等（身体的虐待）
- ・衣類が季節に適していない、衣類や下着が不潔で匂う 等（ネグレクト）
- ・「家に帰りたくない」という 等（心理的虐待）など、様々な例があります。

こうした、児童虐待の疑いを発見した職員は、事務局へ報告するとともに、市役所・児童相談所に通報することになっています。

※ 児童虐待の防止等に関する法律第5条では、放課後児童支援員など「児童の福祉に職務上関係のある者は、児童虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、児童虐待の早期発見に努めなければならない」とされ、更に同法第6条では「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない」と定めています。

○ 災害時の対応について

協議会及び各放課後児童クラブでは、毎年度、風水害・地震・火災を一体的にまとめた「非常災害対策計画」を策定し、災害時に備えています。計画では、各クラブが設置されている立地の条件（ハザードマップによる浸水の可能性、地震による揺れの度合・液状化の可能性）を加味して、非常災害時における円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的としています。

避難場所については、風水害と地震とでは異なる場合も想定されることから、第1避難所のほかに「予備避難所」も指定し、避難経路や距離等も定めていますが、協議会では、「地震発生時」「風水害発生時」「火災発生時」とそれぞれの「行動マニュアル」も定め、実践的に対応できるようにしています。

また、各クラブでは「避難訓練」と「防犯訓練」をそれぞれ年2回ずつ実施しており、この内避難訓練では消防署の立ち合い・指導もお願いしています。

○ 避難を開始する時期,判断基準

協議会が運営する放課後児童クラブでの風水害等発生時の避難の判断基準は、市から「高齢者等避難」が発令されたときとなります。

緊急安全確保
避難指示
高齢者等避難

- ① 避難に際しては避難前後の人数確認を行います。
- ② 負傷者の確認と応急処置を行います。
- ③ 児童の不安に対応します。
- ④ 負傷者がいた場合,関係機関へ連絡し支援を要請すると共に保護者に連絡します。
- ⑤ 保護者への引き渡しまで児童の安全を確保します。

編集後記

今年度も子ども達が、明るく楽しく学童クラブで過ごせるよう、また保護者の皆様が安心してお預け頂けるよう、職員一同一丸となって努めてまいります。

また、日々の子どもの様子等について、この協議会だよりをはじめ、協議会ホームページでもお伝えしてまいりますので、ぜひご覧ください。



発行 / 一般社団法人
久喜市学童保育運営協議会

〒346-0013
久喜市青葉1-2-2 地域交流センター内
TEL 0480-24-3922
FAX 0480-24-3924

メール kukigakudou@feel.ocn.ne.jp
ホームページ <http://kukigakudou.jp/>